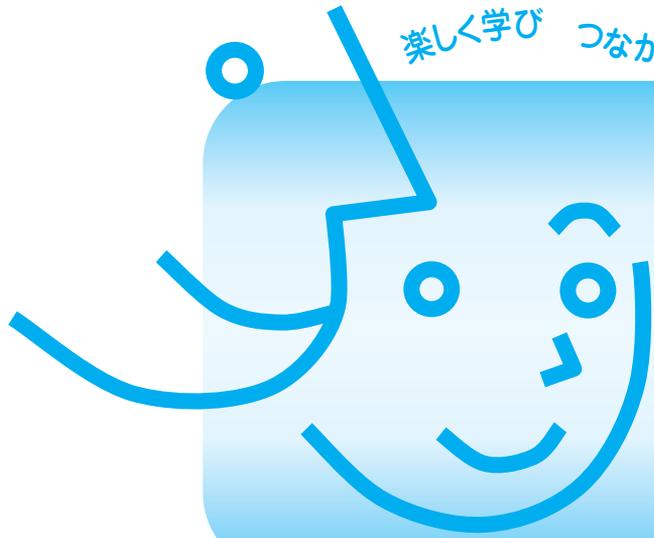


楽しく学び つながり 活かす 生涯学習



教育

はむらの



デモフライト  
「あつまれ!ソーラープレーンおうえん隊」

8月4日、子ども体験塾「子どもひこうき展」のイベントであるデモフライトが宮の下運動公園で行われ、その場で組み立てた飛行機（ソーラープレーン）を、みんなで力を合わせて飛ばしました。

No.45

# 青梅鉄道120周年記念事業開催のお知らせ

青梅線が青梅鉄道として明治27年に開業して、今年で120周年を迎えました。郷土博物館ではこれを記念して、企画事業を行います。羽村の生活を支え続けてきた青梅線の歴史に触れてみませんか？

## ●企画展「青梅線にゆられて」

郷土博物館の資料や、市民の皆様から寄せられた写真などから、私たちの生活と鉄道のかかわりについて展示を行います。また、市内の幼稚園・保育園にご協力をいただき、子どもたちが描いた絵を展示します。

日 時：平成26年10月4日(土)～平成26年12月23日(火・祝)  
午前9時から午後5時まで

会 場：郷土博物館 企画展コーナー・学習室

入館料：無料

休館日：月曜日※10月13日、11月3日、24日は祝日につき開館します。

## ●ナイト・ミュージアム・シアター

ある廃止寸前の鉄道路線を舞台に、鉄道員一筋に生きてきた男に訪れる奇跡を描いた映画『鉄道員(ぽっぽや)』を上映します。

日 時：平成26年10月18日(土) 午後7時～午後9時※夜間特別開館

会 場：郷土博物館オリエンテーションホール

参加費：無料

定 員：先着50席

募 集：平成26年10月3日(金)から、郷土博物館へお電話にてお申し込みください。  
(受付時間午前9時から午後5時まで、休館日をのぞく。)

## ●記念講演会「青梅線沿線の交通ネットワークのあゆみと今」

青梅線を中心とした公共交通ネットワークの移り変わりと市民生活とのかかわりをお話しいたできます。

講 師：鈴木文彦氏(交通ジャーナリスト)

日 時：平成26年11月8日(土) 午後2時～午後3時30分

会 場：羽村市産業福祉センター iホール

参加費：無料

定 員：先着50名

募 集：平成26年10月3日(金)～11月7日(金)までに、郷土博物館へお電話にてお申し込みください。(受付時間午前9時から午後5時まで、休館日をのぞく。)



問合せ

羽村市郷土博物館  
☎042-558-2561

▲昭和45年ごろの青梅線  
羽村町1989『目でみる羽村 百年』P.88より

少年期

青年前期

青年後期

壮年期

高齢期

## !! 図書館からのお知らせ !!

乳幼児期

少年期

青年前期

青年後期

壮年期

高齢期

## 親子で図書館見学

「親子」で「普段、見るできない」図書館の様子を見てもらう「親子で図書館見学」を行いました。この事業では、蔵書点検の意味や方法、閉架書庫などでの資料の保存などを中心に、利用者の方々とじっくりお話しすることができました。参加された方から写真入りの「図書館新聞」を作って送っていただきました。館内で紹介しますので、是非ご覧ください。

## 今年も盛況、1日司書体験

夏休み期間の7月30日(水)に、小学校4年生～6年生を対象に図書館の仕事を体験してもらいました。職員と同じ形のエプロン(小学生にはちょっと大きいのですが)をつけ、図書館司書の準備完了です。1日の体験の様子をご紹介します。

**書架整理**・・・本の分類に関する話を聞いて、実際に本棚へ配架したり、整理をしました。

**本の修理**・・・汚れや破れなどの本の修理の説明を聞いた後、表面が汚れた本を拭いてみました。本専用のクリーナーを布に吹き付け、力を入れ、息を切らしながら本を拭く姿も見られました。

**選書**・・・毎週新しく出版された本の中でどの本を図書館に置くか、1冊ずつ皆で話し合っ選んでいきます。児童書の選書を体験しました。

**カウンター業務**・・・子ども達に1番人気の仕事です。「忘れ物の確認をさせていただきます。」と普段使い慣れない言葉に最初はドキドキ・・・利用者の方に「今日は、小学生が受付なんだね」「がんばってるね」などと励まされ、少しずつ声も出るようになってきました。1冊ずつ丁寧に貸出・返却する姿を温かく見守ってくださった利用者の皆さん、ご協力ありがとうございました。

1日を駆け足で体験してもらいましたが、夏休みの良い体験、思い出作りになったのではないのでしょうか? 「もっとやりたい!」「司書になりたい」という意見もありました。中学生になったら、ぜひ「YA(ヤングアダルト)ボランティア」に参加してほしいと思っています。



-選書の様子-

## 小学生のみの利用は午後5時までです

小学生以下のお子さんのみでの利用は午後5時までです。午後5時以降の利用は保護者の付き添いが必要です。また、お子さんと一緒に行動してくださるようお願いいたします。

## 児童文学講演会

絵本作家「西村繁男 絵本の世界」

9月20日(土) 午後2時～4時

ゆとろぎ展示室

原画展を同時開催します。

(原画展開催期間9月17日(水)～28日(日))

詳しくは、広報はむら9月1日号をご覧ください。

## 製本講座

毎年恒例の図書館ボランティア「本棚」による講座です。

10月16日(水) 午後1時～4時

詳しくは、広報はむら10月1日号をご覧ください。

# つなごう教育でよういっしょに 紹介します! 小中一貫教育の取組み

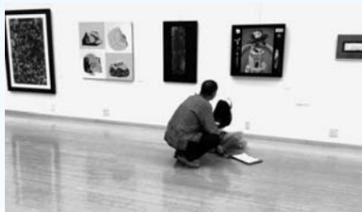
少年期

## アートinはむらで鑑賞教室を行いました。

生涯学習センターゆとろぎで開催されたアートinはむら展で、市内の小学校の4年生が鑑賞教室を行いました。この取組みは、アートinはむら展での芸術鑑賞を羽村市小中一貫教育基本カリキュラム・図工に位置付け、小中一貫教育学習コーディネーターの指導のもと行われるものです。

地域で活躍している芸術家の作品を鑑賞することで、作品のよさやおもしろさを感じる力や、自分や友達の感じ方を互いに伝え合う力を育てることを目標としています。

子どもたちは、学習コーディネーターから解説を聞き、作品の中から気に入ったもの一つを選び感想を書き、互いに気に入った点などを伝え合っていました。



## はむら夏まつりに参加しました。

一中校区と二中校区の学校に加え今年度は三中校区の学校の金管バンドと吹奏楽部がはむら夏まつりの西口サブステージで演奏を行いました。一中校区の演奏については、残念ながら雨天のため中止となってしまいましたが、校区ごと小中学校合同演奏を行い夏まつりの会場を盛り上げていました。

**一中校区**（羽村東小、羽村西小、小作台小、羽村第一中）、**二中校区**（富士見小、栄小、松林小、羽村第二中）、**三中校区**（武蔵野小、羽村第三中）



シリーズ  
特別支援教室⑩

## すべての子どもがともに学ぶ教育をめざして

「インクルーシブ教育システムの構築 モデル事業」の取組みを通して



羽村市では、子どもたちに障害のあるなしにかかわらず、どのような人とも認め合い、ともに学びあい生きていくなかで、社会の構成員としての基礎を作っていく力を備えてほしいと考えています。

そのためには、個別の教育的ニーズのある子どもたちに対しても、その時点で最も確にこたえる指導を提供できる「多様で柔軟な仕組み」を整備するとともに、特別支援にかかわる取組みが就学前からつながっていくようにしていきたいと考えています。

### 羽村市の取組み

★個別の教育的ニーズに応じた適切な指導と環境整備の提供を行います★  
(必要な支援を必要な場所で)

#### 小中学校における教育内容・方法の充実

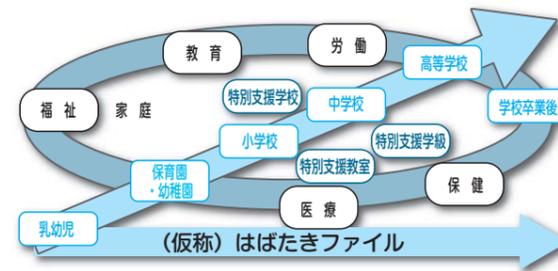
- 「合理的配慮」（個別的配慮）に基づく支援を行います。  
・一人ひとりのニーズに応じて必要かつ適当な変更・調整を可能な限り行い、きめ細かく丁寧な支援を行います。(障害の状況により困っていることなどに意図的・計画的に対応できるようにしていきます。)
- 授業のユニバーサルデザインを実践します。  
・学びの環境の整備や教育方法の工夫等を行い、どの子にも分かりやすい授業を行います。
- 教員の専門性向上を図るための研修を充実します。
- 個別指導計画に基づく指導を充実します。

#### 特別支援教育をつなぐ新たな人材の配置

- インクルーシブ教育システムコーディネーターを配置します。  
・校内の体制整備への指導・助言や教員、相談員及び特別支援教育支援員等への研修を行います。
- 発達相談員を配置します。  
・幼稚園・保育園、中学校への巡回発達相談、就学相談、継続相談を行います。
- 特別支援教育支援員・介助員・教育相談員等による支援も引き続き充実させます。

#### 市における環境整備の充実

- 特別支援学級（固定学級）での支援を充実させます。  
・知的障害学級（栄小・武蔵野小・羽村西小\*・一中・三中）  
・自閉症・情緒障害学級（松林小\*）\*H27開級予定
- 特別支援教室（拠点校（現通級指導学級）とともに、全小学校における巡回指導・相談）での支援を行います。
- 「子どもが動く」から「教員が動く」へ



○関係機関が連携した、支援をつなぐためのファイル「（仮称）はばたきファイル」を作成し、活用します。

○副籍制度、交流及び共同学習を充実させます。

今年度から、文部科学省の委託事業「インクルーシブ教育システム構築モデル事業」に取り組み、特別な支援が必要な一人ひとりの子どもに対する支援を進めるとともに、「すべての学校」で多様なニーズに対応した特別支援教育ができる体制づくりをします。

少年期

# 高等学校等への入学資金の融資を あっせんします(利子等を全額補助)

市では、平成27年度に高等学校等に入学する児童等の保護者を対象として、入学の際に要する資金の調達が困難な場合に、入学資金等の融資を市内の金融機関にあっせんし、その融資に対する利子等を全額補助しています。

問合せ 生涯学習総務課総務係 内線352・353

少年期

青年前期

## 申し込むことができる保護者

次の全てに該当する人です。

- ① 次の学校等に入学する児童等の保護者で入学の際に要する資金の調達が困難な方  
※ 高等学校、中高一貫校の後期課程、特別支援学校の高等部、大学(短期大学)、高等専門学校、専修学校の高等課程及び専門課程、サポート校など
- ② 市内に引続き1年以上居住していること。
- ③ 保護者(父母等)の総所得が750万円以下であること。
- ④ 既に納期の到来した市税等(給食費を含みます)を完納していること。
- ⑤ 取扱金融機関が指定する保証機関の保証を受けられること。
- ⑥ 入学資金に関して同種の融資(他の融資で入学時のみの融資を対象としたもの)を受けていないこと。

## 融資資金の対象・限度額

- ① 融資資金の対象は、入学手続と同時に学校に入金する入学金(料)と入学支度金です。入学金(料)は施設費を含みます。入学支度金は、制服(体育着等を含む)、教科書などの経費で、学校が指定するもので年度内に支払うものが対象となります。(領収書(写し)の提出が必要です。)
- ② 入学金(料)の限度額は100万円、入学支度金の限度額は20万円です。  
ただし、入学者が複数いる場合は、入学支度金に関しては20万円×人数となりますが、同一世帯に対する限度額は入学金も含め120万円です。

## 利子と保証機関の保証料を全額補助します

利子は市が全額補助しますので無利子です。融資には取扱保証機関の保証を受けていただきますが、その保証料についても、市が全額補助します。

## 返済方法・据置期間

返済方法は元金均等月賦返済です。返済期間は60か月を上限とし、基本は就学年数(据置期間含む)となります。

- 高等学校：返済期間3年(据置期間3か月、33回返済)
- 大 学：返済期間4年(据置期間6か月、42回返済)
- 高等専門学校：返済期間5年(据置期間6か月、54回返済)

## 申込みから融資までの流れ

- 【仮申込み】 融資申込書に必要書類を添えて、市役所3階教育委員会生涯学習総務課へ提出してください。
- ↓
- 【審査】 融資要件を確認し、取扱金融機関へ保証機関の保証が受けられるか調査を依頼します。
- ↓
- 【本申込み】 合格通知書を提出していただきます。
- ↓
- 【融資の可否(結果の通知)】 市は、融資の可否を決定し申込人に通知します。また、取扱金融機関へ融資依頼を行います。
- ↓
- 【融資手続】 保護者の皆さんが、取扱金融機関で融資手続を行ってください。
- ↓
- 【保証料の補助申請】 取扱金融機関が指定する保証機関の保証料を支払ってください。その後、市に補助申請をしていただきます。交付決定後、指定する口座に振り込みます。
- ↓
- 【領収書の提出】 融資を受けた資金を学校に納入した際の領収書(写し)を教育委員会生涯学習総務課へ提出してください。

**取扱金融機関** 西多摩農業協同組合 本店・小作支店、西武信用金庫 羽村支店・小作支店、青梅信用金庫 羽村支店、多摩信用金庫 羽村支店

※入学資金融資制度の利用を希望する場合は、事前に教育委員会生涯学習総務課総務係へご相談ください。

教育随想



「甦れ！進取の気性

特別支援教育は、生涯学習推進の基軸か」

「思慮深く、献身的な、少数の市民が世の中を変えられることを疑ってはなりません。実際に世の中を変えてきたのは、そういう人々にほかなりません。」ある文化人類学者のこの言葉の意味をどのように受け止め、理解すればいいのか。教育行政に携わる立場からも考えさせられる言葉であります。

「誰が称賛を受けるかを気にしなければ、人が成し遂げ、到達できることに限界はない。」先人の知恵にもありますが、私たちの仕事の多くは「歴史」という「時間と空間」が評価することであり、だからこそ、学校でいえば、「管理職・校長」は、勇気をもって自分が正しいと思うことを発信していく責務があると思います。近年、国でも教育再生とか、不確かな展望からの教育

改革が叫ばれてはいますが、羽村にしてみれば、私たちが考える姿勢としては、「制度で教育はできない」ということであり、それは、とりもなおさず制度の精度を高め、ていくということに尽きることであります。羽村市の2学期制や小中一貫教育の導入・展開は、そのことを事実として私たちは、受け止めているのであります。羽村の子どもたちの「知的基礎体力」の充実を目指して、日々の日常的な努力を行政と現場が一体となって取り組み、子どもたちの希望ある未来に向かって、誰にも「ムダなポスト」は、一つもないことを信じて実践する。常に、軸足がブレることなく「複眼的な視点」からの更なる努力を継続していくことを願っています。

教育長 角野 征大

乳幼児期

少年期

青年前期

青年後期

壮年期

高齢期

INFORMATION

生涯学習センターゆとろぎ Tel 570-0707  
 図書館 Tel 554-2280  
 郷土博物館 Tel 558-2561  
 スポーツセンター Tel 555-0033  
 スイミングセンター Tel 579-3210  
 弓道場 Tel 555-9255

羽村東小学校 Tel 554-5663  
 羽村西小学校 Tel 554-2034  
 富士見小学校 Tel 554-6449  
 栄小学校 Tel 554-2024  
 松林小学校 Tel 554-7800  
 小作台小学校 Tel 554-1431

武蔵野小学校 Tel 555-6904  
 羽村第一中学校 Tel 554-2012  
 羽村第二中学校 Tel 554-2041  
 羽村第三中学校 Tel 555-5131  
 教育相談室 Tel 554-1223  
 適応指導教室 Tel 554-1331  
ハーモニースクールはむら

特定非営利活動法人羽村市体育協会および羽村市文化協会は、市や教育委員会と協働して、市のスポーツや文化を推進していくための団体です。

## 特定非営利活動法人 羽村市体育協会

TEL 555-1698

### 第67回 羽村市市民体育祭

家族そろって、またはお友だち同士で参加してください。

日時 10月12日(日)

※雨天順延13日(体育の日)

会場 富士見公園グラウンド

開会式 午前8時45分

閉会式 午後3時30分

種目 町内会・自治会対抗種目4種目のほか、参加自由種目も多数あります。

※市民体育祭は、体育協会が市から運営を委託されています。

### 第39回 羽村市完歩大会

多摩川沿いを福生市方面へのウォーキング大会です。

主催 羽村市体育協会

日時 11月23日(日) ※雨天中止

集合 多摩川兄弟銅像前

時間 午前9時 ※終了予定は正午

コース 距離の違う3コース(4、8、12キロメートル)があります。

申込み 10月10日(金)から、参加費1人200円を持参の上、体育協会事務局へ申し込んでください。

## 羽村市文化協会

TEL 080-2558-1010

### 第45回 羽村市文化祭

会場 生涯学習センターゆとろぎ

●ホール		●展示(午前10時～午後5時)	
10月11日(土)	小中学生音楽フェスティバル	10月15日(水)～19日(日)【1期】洋的な作品	
13日(祝)	芸能ほか(小ホール)	10月22日(水)～26日(日)【2期】和・洋的な作品	
18日(土)	洋舞 器楽(小ホール)	10月29日(水)～11月3日(祝)【3期】和的な作品	
19日(日)	邦楽	●特別企画(小ホール)	
25日(土)	洋楽器	10月18日(土)	映画会
26日(日)	合唱	11月2日(日)	音楽演奏会「別れと再会・出発の歌」
11月1日(土)	洋舞	11月3日(祝)	文化講演会「人生と芸術・文化」
2日(日)	日舞	【体験教室】	
●交流ひろば ※雨天中止		展示5団体…展示期間中(各展示会場)	
10月25日(土)・11月2日(日)		ホール4団体…10/25・10/26午前(小ホール)	
		10/26昼(交流ひろば) ※雨天中止	

### 第48回 サロンコンサート サックス奏者 永井泰子さん

日時 10月4日(土) 正午～12時45分 会場 ゆとろぎロビー